

第45回北海道土を考える会終了のお礼

～2022年7月9・10日開催～

2022年7月22日

北海道土を考える会第45回夏季研修会を盛会のなか無事に終了できましたこと、心より感謝申し上げます。

今回の開催にあたり、コロナ禍で罹患者が増加し、役員会も開けずに思いあぐねていたところへ、事務局のスガノ農機より「国際農機展が延期になり、自社製品をお客様にご紹介する機会として北海道でイベントを行いたい」との提案を受け、北海道土を考える会役員と事務局のスガノ農機で会議を行い、スガノ農機主催のスガノフェアに於いて、その一部を北海道土を考える会夏季研修会として開催できる運びとなりました。開催告知については、土を考える会との関係を大切にしたいとの事務局であるスガノ農機の思いから、全国の各地区土を考える会会員の皆様へご案内させていただきました。

総会では、各議案の審議が行われ、すべての議案につき原案どおり承認可決いたしました。また、今回の45回という節目にあたり、長年に渡り北海道土を考える会を役員として支えてくださった方々に感謝状をお渡しさせていただきました。



左から長門茂明さん、小尾一彦さん、尾形恭男さん、武智唯浩さん、吉田 豊さん(佐藤洋一さん、細川幹生さんは欠席のため地区事務局が代理受領)

その後、展示コーナーに移動し、それぞれの農場が特注したリバーシブルプラウを、オーダーされたご本人にご説明いただき、標準製品では対応できなかった問題を解消するために特注製品とした経緯などをご説明いただきました。



北川和也さん(中富良野町)



武智唯浩さん(池田町)



勝部農場(栗山町)モデルのみ事務局が説明

座学では農研機構 農業環境研究部門の2名の方から情報提供をいただきました。石塚直樹氏による「ドローンで土を見る」では、ドローンと実調査データの相関をAI化していくことで効率的に土壌状況が把握できる研究内容を紹介いただきました。前島勇治氏からは「北海道達人の土を見る」として、芽室町・吉本農場、更別村・吉田農場で昨年行われた土壌断面調査データと採取したモニリスで、それぞれの土の特徴や土づくりのポイントなどを解説いただきました。



石塚直樹氏による講演



前島勇治氏による講演

夕方からの情報交換会では、地元の食材を囲み、全国からご参加いただいた各地区土を考える会の皆様と、コロナ禍前のような夜を徹してとはいきませんが、時間の許す限り交流を深めることができました。



翌日は、試作機を含めた様々なスガノ農機製品の実演が行われ、今までに無い視点での開発中製品には、多くの会員が感心を示していました。



今回の研修会開催にあたり、合同開催を快くお受け頂いたスガノ農機 渡邊社長、準備から殆どの段取りをして頂いたスガノ農機社員の皆様には心から感謝申し上げますと共に今後とも良いお付き合いを継続していきたいと願っております。会員の皆様にも全国各地からご参加頂き感謝申し上げます。今後も皆様の経営に少しでも参考になる研修会になる様にご意見・ご要望を受入ながら、北海道土を考える会をさらに発展させていきたいと思っておりますので更なるご協力とご参加をお願い致します。最後になりますが研修会に参加された皆様、ご協力頂きましたスガノ農機に重ねてお礼申し上げます。

北海道土を考える会 会長 田村裕良